

# 三和ニューテック DX計画 2026－2030

1970年の創業以来、私たちは常に挑戦を続けてきました。1984年には自社オリジナル商品の開発型製造会社を目指し社名を変更、2007年にはiPhoneが登場するなど急速な環境変化に対応するため、3事業制を導入しました。さらに2011年には医療・介護分野への進出を果たし、ヘルスケア関連機器事業を育ててきました。

2021年、コロナ禍という大きな転換点において、事業方針を刷新し、リーダーライター事業・ヘルスケア関連機器事業・ODM事業の3本柱を確立させ、そして2025年、次のステージに向け当社のパーパス・ミッション・ビジョン・コンセプトを再定義し、この「三和ニューテックDX計画」を策定しました。

デジタル技術の進化は、私たちに新たな可能性をもたらします。変化を恐れず、挑戦を続け、当社の先回り提案と高品質の製品を提供することで、社会に貢献していきます。

お客様に選ばれ続ける企業となるために、全社員一丸となってDXを推進してまいります。

代表取締役社長  
金内 隆一

## 「便利と快適を実用化する技術で、 未来を照らし、先回り提案を続けるメーカーへ進化する」

私たちは、AIやデジタル技術をあらゆる業務領域で活用し、これまで培ってきたオリジナル製品の開発力と製造力を基盤に、さらなる革新を目指します。社会やお客様の顕在ニーズに応えるだけでなく、利便性と快適性の両面において潜在ニーズを先回りして形にし、積極的に発信します。暮らしやビジネスをより良くする製品を創り続け、信頼され、選ばれる企業となることを目指します。

## きらめく技術で人をわくわく 世界を笑顔にする三和ニューテック

私たちは、モノづくりを通じて人の成長を支え、社会の快適と進化に貢献します。

社員一人ひとりの挑戦と創造が、より良い製品を生み出し、その製品が人々の暮らしに笑顔をもたらす。そして、社会の変化が新たな課題と可能性を生み、再び人の学びと技術革新を促していく——。

この成長の循環こそが、私たちの存在意義であり、未来への約束です。

## 戦略1. 営業の情報基盤整備（素材）

- 業界の動向、市場動向、顧客情報などあらゆる情報をデータ化し蓄積します。
- 蓄積されたデータをもとにマーケティングに活用できる体制を整備します。

## 戦略2. 営業と開発の“知の連携”DX（知恵）

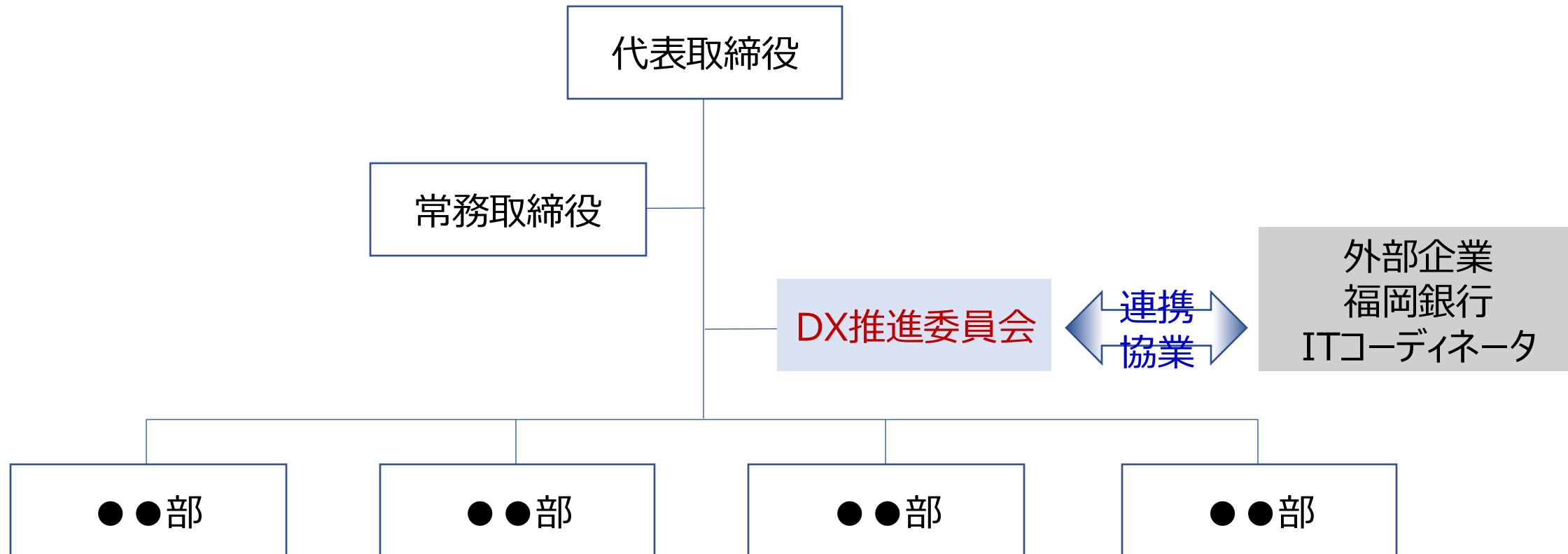
- 蓄積されたデータの共有と分析・評価を行いながら、マーケティングや、新規開発のアイデア創出に繋がります。
- 営業ノウハウの共有による全社的な営業力強化を目指します。

## 戦略3. 基幹システムの再構築（実行）

- 生産性向上と品質向上の両立を目指します。
- 顧客ニーズに対し期待を超える提案を実現します。

## DX推進委員会設置

- 代表取締役直下にDX推進委員会を設置しました。
- 金融機関やITベンダー等と連携・協業を行うことで、的確なアドバイスを受けるとともに推進ノウハウの獲得を目指します。



## 人材育成

- 全社員に対してITパスポート取得を奨励
- 最新のDX動向や技術トレンドを学ぶための外部セミナー等イベントに積極参加
- 外部企業・団体と定期的に情報交換を実施



**DX人材育成**

## IT環境整備

- クラウドシステムの導入
- セキュリティポリシーの策定
- タブレット等の配布



## KPI（主要目標）

➤ 次の指標によりDX計画の進捗状況を管理します。

### 戦略1.営業の情報基盤整備



- 案件情報入力率
- 営業活動の可視化率

### 戦略2.営業と開発の“知の連携”DX



- (KPI) 提案前の事前検討件数
- (KPI) 先回り提案比率
- (KGI) 提案採用率

### 戦略3.基幹システムの再構築



- 業務リードタイム短縮
- クレーム件数とコストの減少